

高等学校 家庭基礎・家庭総合	家計の管理(使う・借りる、注意することは?) (2025. 9)
---------------------------------	--

1. 本時の位置付け

本時は、高等学校学習指導要領(平成30年告示)及び同解説に記載されている以下の内容の一部と関連します。

展開①	【使う】 家計管理とキャッシュレス	<u>家庭基礎 C(1)</u> ア 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解すること。 <解説> ・家計管理については、収支バランスの重要性とともに、リスク管理も踏まえた家計管理の基本について理解する。
展開②	【借りる】 ローン・クレジット、奨学金	<u>家庭基礎 C(1)</u> イ 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察すること。
展開③	【注意】 金融トラブル	<u>家庭基礎 C(2)</u> ア 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できること。

また、金融リテラシー・マップとの関係では、「分類 1 家計管理」、「分類3 金融取引の基本としての素養」、「分類6 ローン・クレジット」の学習を含んでいます。

2. 本時の目標

- ・ 家計管理の必要性、借り入れ方法と返済、金融トラブルに巻き込まれないための工夫について理解する。

3. 評価のポイント

- ・ 家計管理の必要性、借り入れ方法と返済、金融トラブルに巻き込まれないための工夫について理解している。

4. 本時の流れ ※「学習活動」及び「指導上の留意点」の#は、標準講義資料のスライド番号を示している。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
展開① 7分	家計管理とキャッシュレス	(問)就職先から月給は20万円と言われた。毎月20万円までなら使って良い。○か×か?(#16、17) ●手取り収入の把握、支出の種類等を説明する。(＃18～24) ○中学までの学習を振り返り、確認しながら、スライド 18を参考に、ワークシート1に記入する。(＃16～24) (問)お金が貯まりやすいのはどっちでしょう?(＃25、26) ●「仕組み化」「目的に応じた振り分け」について説明する。(＃27～29) ○仕組み化について知り、お金を目的に応じて振り分けることに、着目する。(＃25～29)	・＃19～26は、同一又は類似の内容が中学版に含まれるので、中学の学習の振り返りとして、概要のみの説明でもよい。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
展開② 20分	ローン・クレジット、奨学金	ローン・クレジット、奨学金の借り入れと返済は、どうなっているだろうか？(#70～84) (問)金利18%で30万円を借りた。返済は？(#76, 79) ●ローンとクレジットについて説明する。(#70～79) ○中学での学習を振り返りつつ、ローンとクレジットについて考える。(#70～79) ●大学在学中にかかる教育費・生活費と奨学金について説明する。(#80～84) ○返済を視野に収めた借り入れについて自分の考えをまとめながら、ワークシート2に記入する。(#80～84)	・ #70～79は、中学校でも学習する内容であるため、ここでは概要のみの説明でもよい。 ・ 注意点、留意点に着目できるとよい。 ・ 奨学金については、高校のみの学習内容であるため、時間を割き詳しく取り上げるとよい。
展開③ 17分	金融トラブル	どのような金融トラブルがあるだろうか？(#86～96) ●金融トラブルについて説明する。(#86～96) ○一つのトラブルに巻き込まれることで「負のスパイラル」に陥り、さまざまなトラブルに繋がることに着目しながら、ワークシート3, 4に記入する。(#86～96)	・ #87～89及び#93～96は、中学校でも学習する内容であるため、ここでは概要のみの説明でもよい。
まとめ 6分	さらに学びたい方は	●さらに学ぶ方法の例として、情報掲載ホームページを紹介する。 ○ホームページで情報を検索してみる。 今後の学習に役立つ方法があることを知る。 ○ワークシートの記入を確認し、提出する。	・ 将来にわたって主体的に学び続ける態度に繋がれるとよい。

5. ワークシートの解答・解答例

ワークシート

家計の管理(使う・借りる、注意することは？)

年 組 番 名前

1. 給与明細を参考に次の式を完成させよう。

総支給額 - (社会保険料 + 税金) = 手取り収入

2. 奨学金について、正しく述べた文を選び、○を記入しよう

① すべて返済の必要があり利息が付く。
 ② 返済の必要のない「給付型」と、返済の必要がある「貸与型」がある。
 ③ 経済的困難で返済に困っても、予め決めた金額を払い続けなければならない。
 ④ 災害や経済的困難で返済に困ったときは、申請することで、返済額を少なくしたり、返済を待ってもらったり出来る制度がある。
 ⑤ 奨学金の返済を怠ると、クレジットカードが作れない・住宅ローンが組めないことになったりする。

3. 大きな金額を支出するには「コツコツ貯めてから支出する」こともできる一方で、「クレジットやローンで借りて支出し、分割払いやリボルビング払いで少しずつ返済する」こともできる。
 分割払いやリボルビング払いについて正しく述べた文を選び、○を記入しよう。

① 手数料分多く返済する。
 ② 未来の収入を先取りして支出することになる。
 ③ 月々の支払いが出来ないと、借りている全額の支払いを求められることがある。
 ④ 月々の支払いが出来ないと記録が残る、新たなローンの申し込みを断られることがある。

4. さまざまな金融トラブルに巻き込まれないために、自分が取り組んでいきたいことを書こう。

・ 契約書をよく読む
 ・ その場で契約せず持ち帰ってよく考える
 ・ 一人で決めず、誰かに相談する
 ・ 日頃から情報を集めておく など

家計の管理(使う・借りる、注意することは?)

年 組 番	名前
-------	----

1. 給与明細を参考に次の式を完成させよう。

総支給額 - (_____ + 税金) = _____

2. 奨学金について、正しく述べた文を選び、○を記入しよう

- ① すべて返済の必要があり利息が付く。
- ② 返済の必要のない「給付型」と、返済の必要がある「貸与型」がある。
- ③ 経済的困難で返済に困っても、予め決めた金額を払い続けなければならない。
- ④ 災害や経済的困難で返済に困ったときは、申請することで、返済額を少なくしたり、返済を待ってもらったり出来る制度がある。
- ⑤ 奨学金の返済を怠ると、クレジットカードが作れない・住宅ローンが組めないことになったりする。

3. 大きな金額を支出するには「コツコツ貯めてから支出する」こともできる一方で、「クレジットやローンで借りて支出し、分割払いやリボルビング払いで少しずつ返済する」こともできる。
分割払いやリボルビング払いについて正しく述べた文を選び、○を記入しよう。

- ① 手数料分多く返済する。
- ② 未来の収入を先取りして支出することになる。
- ③ 月々の支払いが出来ないと、借りている全額の支払いを求められることがある。
- ④ 月々の支払いが出来ないと記録が残り、新たなローンの申し込みを断られることがある。

4. さまざまな金融トラブルに巻き込まれないために、自分が取り組んでいきたいことを書こう。